

食物負荷試験を受けられる患者様へ

ID: @PATIENTID 患者氏名 @PATIENTNAME 様 担当医 担当看護師

月 日	/	/
経 過	入院日	入院2日目(入院継続・退院)
達成目標	負荷試験の結果に応じた栄養指導を、自宅での食生活に活かすことができる。 症状出現時の対応について理解できる。	
治療・処置	アレルギー症状が誘発された場合は、症状に応じて内服、吸入、注射などの治療を行います。	
検査	午前中に食物負荷試験を実施します。 負荷食品を単回もしくは数回に分け、40～60分の間隔で摂取します。	
活動・安静度	病室内で安静にお過ごしください。 症状が出た場合は、動ける範囲が変わることがあります。	—————→ 
栄養	負荷試験終了後より、アレルギー対応食をとっていただきます。	—————→ 
清潔	午後からシャワー浴をしていただきます。	
排泄	病室のトイレを利用します。症状に応じて動ける範囲が制限されることがあります。	—————→ 
説明教育指導	<ul style="list-style-type: none"> ・医師より検査・治療計画の説明があります。 ・看護師より入院中の注意点について説明があります。 ・持参薬の確認をします。 ・体調の変化やご質問などありましたらいつでもおたずねください。 ・負荷試験終了後に栄養士より栄養指導を行います。 ・服薬指導は必要に応じて行います。 	<p>医師の診察後、状態が落ち着いていたら退院となります。</p> <div style="text-align: center;"></div>

臓器	出現時間	症状	0:なし	1:軽症	2:中等症	3:重症	評価ポイント
1.皮膚	1.最中 2.直後	紅斑	なし	<10%	10~30%	>30%	体表に占める面積
	3.()分後	掻痒	なし	少し掻く	中間	掻きむしる	
		蕁麻疹・血管性浮腫	なし	<3個	3~10個	全身	
1.皮膚	1.最中 2.直後	湿疹の悪化面積	なし	<10%	10~30%	>30%	体表に占める面積
	3.()分後	皮疹の所見	なし	紅斑、掻痒、掻破痕、丘疹、掻痒、苔癬、糜爛、湿潤			該当するものに○をつける
			落屑				
2.粘膜	1.最中 2.直後	くしゃみ・	なし	たまに	間欠的	持続的・眼瞼	こする頻度
	2.直後	目鼻のかゆみ				腫脹・くしゃみ連発	
	3.()分後	鼻汁	なし	時々	頻回(ティッシュ必要)	大量・持続的	はなすすりの頻度
3.消化器	1.最中 2.直後	腹痛	なし	嘔気・腹痛、活動性不変	活動性低下	激しい、痛みでなく	
	3.()分後	嘔吐あるいは下痢	なし	1回	2~3回	3回以上	
4.呼吸器	1.最中 2.直後	嘔声	なし	軽度	中等度	無声・陥没呼吸	
	2.直後	咳	なし	数回	<10回	連続的	
	3.()分後	喘鳴	なし	聴診で聞こえる	呼吸困難・呼気でも吸気でも喘鳴	呼吸補助筋の使用・離れていても喘鳴聴取	
5.循環器・	1.最中 2.直後		なし	活動性低下	血圧低下	意識消失	
	3.()分後						